

2024年度

# 魚住まちづくり協議会

## 総会 議案書



人と人が交流し 人と自然が共生する

いつまでも安心して住み続けたいまち

日時：2024年5月26日（日）14時00分～

場所：魚住小学校 体育館

## 2024年度 総会 議案書 次第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 議長・書記 選出
4. 議事

|       |        |         |
|-------|--------|---------|
| 第1号議案 | 2023年度 | 事業報告    |
| 第2号議案 | 2023年度 | 収支決算報告  |
| 第3号議案 | 会計監査報告 |         |
| 第4号議案 | 2024年度 | 役員（案）   |
| 第5号議案 | 2024年度 | 事業計画（案） |
| 第6号議案 | 2024年度 | 収支予算（案） |
5. 議長・書記解任
6. 副会長あいさつ
7. 閉会のことば

## 2023年度 魚住まちづくり協議会 事業報告

### ■全体事業計画■

3大行事) 全ての事業が4年ぶりに従来の形で実施

#### ✦9/16(土) 敬老会

約150名の参加者に体育館へ集ってもらい、昔懐かしい器楽クラブの演奏を楽しんでもらいました。

#### ✦10/14(土) うおずみ祭り

開催時間も14時まで延長し、従来の形+まちフェスと小学校6年生の出店と出し物も多く、大盛況で約1,000人もの来場がありました。

参加者は皆さん交流しながら楽しい一時を過ごしてもらいました。

#### ✦2024/1/13(土) 左義長

どんと焼きだけでなく餅つき体験、昔遊び、豚汁とぜんざい振る舞いも行った。参加者は約700人と多くの方が来られた。また、正月に起きた能登半島地震の募金も急遽実施し、くすのんバッジ売り上げと合わせて約48,000円を赤十字経由で義援金を送付した。

### チーム・インフラ) 「くすのん広場」の継続運営

多様な人が参加しやすいように市民センター、金ヶ崎文化センターでの各2回サテライトも実施した。残念ながらあまり参加者は多くなく改善が必要と感じている。また小学校6年生には別対応で4回集まり、プレゼンを通して、うおずみ祭りへの出店を決め、祭り当日は子ども主体の新しい力も加わり大盛況だった。

### 広報)

- ・事務局員+1名でチームを作り、ホームページ中心に改善点を話し合いました。タイトルについてはより見やすくするために見直しを検討中。
- ・ホームページにより親んでもらうため、毎週1回4人事務局員が交代で身近な情報をブログ「ほっこりまち協日和」の投稿を始めた。
- ・広報まち協だより、新タイトル「うおずみ だいすき!」は3回発行した。
- ・公式LINEは大幅値上げのため中止とした。

### 校区防災事業)

特に重要な自助・共助を各家庭、自治会、まちづくり協議会本部がそれぞれの役割を理解し連携し、校区防災力アップを目指す

- ・校区3カ所で地域住民との出前懇談会(意見交換会)を2回実施した。
- ・2023年度、9月検証訓練と4年ぶりの3月の校区全体防災訓練(5年生も多く参加し運営に協力)を実施し約300名の参加があった。
- ・共助de17は10回開催、また住民だけの自主防災組織準備チームも動き出した。
- ・広報についてはチラシを別として校区防災だよりを2回発行した。
- ・「防災だより」の発行

## 小学校と連携してコミュニティスクールの推進)

生活、総合学習共通テーマ：「地域の子どもは地域の宝」

長い歴史・文化が残る地域の今、昔を知り

地域に愛着を持ち、地域で活躍できるような人づくり

地域⇔学校で連携しながら1年から6年まで実りのある活動が出来た。

最後には双方代表者が集まり振り返りのワークショップを行い、成果や課題を共有し、次年度へ引き継げるように取りまとめた。

## ■各部会報告■

### 健康・福祉部会 ～いつまでも元気で明るく生きるための健康増進を目指す～

- きずなサロンで楽しく役立つテーマを取り上げたくさんの方が集える場所づくり  
月1回第2水曜日に開催 年間12回開催 平均参加者数：20.3名
- 元気アップ体操で健康づくりやフレイル予防に 毎月、第2、4木曜日実施  
ほぼ月2回開催 平均参加者数：7.2名 今後10名以上目標に改善
- 市の出前健診の実施 11月18日に実施 受診者数13名と少ない  
市にも協力してもらい人数アップの方法を検討する
- 地域内他団体等や他部会との交流・連携  
まちなかゾーン会議への参加(随時)

### 安全部会 ～地域のみんなで安全安心、そして信頼が肌で感じられるまちづくり～

- あいさつ運動の実施 登下校時  
児童・生徒・地域の人々と一緒に実施
- みんなで見守る活動 28名で43週にわたり実施  
スクールガード活動 ～登下校・学校園の見守り、校外学習の見守り～  
ながら見守りの実施～交通安全・防犯を地域全体で～  
コミュニティスクール協働 2年生まち探検見守り同行  
まち協全体行事(うおずみ祭り、左義長など)の見守り  
月一回青パト乗車
- 3部会(自然環境歴史・健康福祉・安全)の協働活動  
校区クリーンアップ作戦 2023/10/21、2024/1/27に2回実施
- SG定例会(毎週金曜日)、安全部会(月一回)開催

### 自然・環境・歴史部会 ～ふるさとの自然と文化を体感しながら 守り続け誇りに思えるまちづくり～

#### 部会ではなく、3チームに分かれ自主的に活動を行った

みんな de 里山あそびチーム 主に金ヶ崎公園での各種自然体感活動を行う

- 里山整備 夏場は避け自然観察 11月から第一土曜日 5回開催  
毎回参加者は6、7名で何とか整備は出来ているが、継続性に不安
- 親子自然体験 7/22「セミの羽化・星空観察」39名の参加  
11/23「落ち葉・どんぐりリースづくり」14名の参加  
1/20「冬の星空観察」天文科学館鈴木さん講師 12名参加

**鴨池掘割緑地整備チーム** 緑化公園課に公園愛護会として月2回活動  
浜西自治会・高年クラブ、部会員、地域住民で構成  
毎回6、7名参加 きれいに維持できている 参加者が少し減 対策を検討

**歴史チーム** 魚住小学校区の歴史・文化を掘り起こし、地域住民と共有

- ・看板の作成 内容検討中 設置は次年度へ
- ・近隣地域の史跡探訪 看板を巡るウォーキングラリーを開催
- ・「うおずみ学講座」を引き継ぎ、まち協主催で開催（11年目） 11月に2回

**共通事業** 6/12部会研修会実施 山田川疎水、宗賢神社ルーツ 参加者11名

## ふるさと・未来（子どもを育む）

- ・ **みんな de 菜園** 土づくり、苗植え、種まき、草引き、収穫、収穫祭など年間を通じて参加者主体の楽しく、美味しい菜園活動を実施  
土づくり主体の菜園 PAPA への負担増、天候不順で大変な1年だった
- ・ **みんな de お勉強** 毎週水曜日 14時半1年～3年 15時半4年～6年  
長期休暇（夏・冬・春）にはお楽しみ会3回実施 定員60名に対し88名が応募。抽選をして60名に 支援ボランティアが1名増えた
- ・ **みんな de ごはん** 久しぶりに11月から再開 その後月1回実施  
今回初めて県の補助金を活用  
毎回定員30名と多くの参加者があり世代間交流しながらいつも大盛況  
みんなで準備、調理、飲食、片付けと楽しく交流しながら開催している
- ・ **こども夢文庫** 開設2年目 スタッフで話し合いながら運営  
活動時間は週2回で毎週火曜日/午前、午後 毎週金曜日/午前実施  
休み期間もオープンし子どもたちも沢山来館し活用してもらっている
- ・ **喫茶くすのき** 毎週火曜日から金曜日 9時30分～13時30分まで営業  
今年度モーニングセットも再開 今年度から夏、冬、春休みも営業  
くすのん文庫に来た子ども達が利用してくれている  
～地域の人にもっと居場所、交流の場として活用してもらえるように～
- ・ 魚住東中 トライやる・ウィーク 3名受け入れ
- ・ 清水高校 2年生 インターンシップ 1名受け入れ  
人環 ボランティア部との交流

## 一括交付金

## 2023年度 地域一括交付金 収支決算書

期間:2023年4月1日(土)~2024年3月31日(日)

## 【収入の部】

(予算-決算)

(単位:円)

| 項目      | 予算額       | 決算額       | 増減      | 摘要                              |
|---------|-----------|-----------|---------|---------------------------------|
| 地域一括交付金 | 8,033,180 | 8,033,180 | 0       | 今年度補助金 7,240,000 前年度繰越金 793,180 |
| 雑収入     | 2,434     | 100,834   | -98,400 | きずなサロン参加費、協賛金、活動費               |
| 合計      | 8,035,614 | 8,134,014 | -98,400 |                                 |

## 【支出の部】

(予算-決算)

(単位:円)

| 項目            | 予算額       | 決算額       | 増減       | 摘要 |
|---------------|-----------|-----------|----------|----|
| ① うおずみ祭り      | 250,000   | 410,342   | -160,342 |    |
| ② 左義長         | 200,000   | 131,699   | 68,301   |    |
| ③ 校区防災活動・防災訓練 | 200,000   | 142,044   | 57,956   |    |
| ④ 安全          | 75,000    | 37,183    | 37,817   |    |
| ⑤ 健康福祉        | 70,000    | 58,967    | 11,033   |    |
| ⑥ 自然・環境・歴史    | 85,000    | 39,013    | 45,987   |    |
| ⑦ 広報          | 250,000   | 253,383   | -3,383   |    |
| ⑧ 事務局運営       | 605,614   | 625,475   | -19,861  |    |
| ⑨ 事務局人件費      | 6,300,000 | 6,107,616 | 192,384  |    |
| 合計            | 8,035,614 | 7,805,722 | 229,892  |    |

次年度繰越金は、総収入 8,134,014 - 総支出 7,805,722 = 328,292となります。

それぞれの事業についての決算費目に関しては別表をご確認ください。

別表(地域一括交付金)

| 事業名<br>費目 | ① うおずみ祭り | ② 左義長    | ③ 校区防災活動・防災訓練 | ④ 安全    | ⑤ 健康福祉  | ⑥ 自然・環境・歴史 | ⑦ 広報     | ⑧ 事務局運営  | ⑨ 事務局人件費   | 合計         |
|-----------|----------|----------|---------------|---------|---------|------------|----------|----------|------------|------------|
| 会費        |          |          |               |         |         |            |          | ¥20,000  |            | ¥20,000    |
| 補助金       |          |          |               |         |         |            |          |          |            |            |
| 寄付金       |          |          |               |         |         |            |          |          |            |            |
| 事業収入      |          |          |               |         |         |            |          |          |            |            |
| 雑収入       |          |          |               |         |         |            |          |          |            |            |
| 人件費       |          |          |               |         |         |            |          |          | ¥6,086,475 | ¥6,086,475 |
| 食糧費       | ¥112,369 | ¥63,434  | ¥26,035       | ¥9,744  |         | ¥7,018     |          | ¥23,193  |            | ¥241,793   |
| 通信運搬費     |          |          |               |         |         |            | ¥146,294 | ¥126,865 |            | ¥273,159   |
| 印刷製本費     | ¥7,850   | ¥4,284   | ¥94,566       | ¥10,301 | ¥28,734 | ¥18,024    | ¥106,814 | ¥182,769 |            | ¥453,342   |
| 消耗品費      | ¥41,618  | ¥26,511  | ¥17,643       | ¥11,358 | ¥10,703 | ¥4,409     |          | ¥124,638 |            | ¥236,880   |
| 備品費       |          |          |               |         |         |            |          |          |            |            |
| 旅費交通費     |          |          |               | ¥1,780  |         |            |          | ¥4,000   |            | ¥5,780     |
| 光熱水費      | ¥13,700  | ¥13,200  | ¥1,800        | ¥4,000  | ¥1,900  | ¥1,700     |          | ¥4,200   |            | ¥40,500    |
| 賃借料       | ¥214,420 | ¥12,540  | ¥2,000        |         |         |            |          | ¥136,600 |            | ¥365,560   |
| 保険料       | ¥20,000  | ¥11,730  |               |         | ¥7,980  | ¥7,600     |          | ¥3,210   | ¥21,141    | ¥71,661    |
| 諸謝金       |          |          |               |         | ¥8,000  |            |          |          |            | ¥8,000     |
| 補助金返還金    |          |          |               |         |         |            |          |          |            |            |
| 雑支出       | ¥385     |          |               |         | ¥1,650  | ¥262       | ¥275     |          |            | ¥2,572     |
| 合計        | ¥410,342 | ¥131,699 | ¥142,044      | ¥37,183 | ¥58,967 | ¥39,013    | ¥253,383 | ¥625,475 | ¥6,107,616 | ¥7,805,722 |

※0円のところは空白で表示しております。

# 2023年度 補助金・助成金 収支決算書

期間:2023年4月1日(土)~2024年3月31日(日)

## 補助金・助成金

### 【収入の部】

(予算-決算)

(単位:円)

| 項目              | 予算額       | 決算額       | 増減       | 摘要  |
|-----------------|-----------|-----------|----------|---|
| 敬老月間推進(敬老会開催)事業 | 300,000   | 300,000   | 0        | 明石市高齢者総合支援室より 敬老会開催時に使用   |
| 防犯協会活動補助        | 297,700   | 297,700   | 0        | 今年度補助金 70,000 前年度繰越金 227,700  |
| こども応援助成金        | 200,000   | 200,000   | 0        | あかしこども財団より みんなdeお勉強に使用  |
| こども夢文庫 運営助成金    | 200,000   | 200,000   | 0        | あかしこども財団より こども夢文庫に使用  |
| パワーアップ助成金       | 0         | 100,000   | -100,000 | コミュニティ創造協会より こども夢文庫に使用  |
| みんなde菜園 運営事業    | 317,895   | 345,295   | -27,400  | 明石市地域共生社会室より みんなde菜園に使用<br>会費¥18,500.- 参加者負担¥2,600.-<br>玉ねぎ売上¥6,300.- |
| 雑収入             | 0         | 0         | 0        |   |
| 合計              | 1,315,595 | 1,442,995 | -127,400 |   |

### 【支出の部】

(予算-決算)

(単位:円)

| 項目              | 予算額       | 決算額     | 増減       | 摘要                      |
|-----------------|-----------|---------|----------|-------------------------|
| 敬老月間推進(敬老会開催)事業 | 300,000   | 62,018  | 237,982  | ¥237,982.- 市へ返金         |
| 防犯協会活動補助        | 297,700   | 17,524  | 280,176  | 残金 ¥280,176.- 次年度へ繰り越し  |
| こども応援助成金        | 200,000   | 201,553 | -1,553   | 不足分 ¥1,553.- ふるさと基金より補填 |
| こども夢文庫 運営助成金    | 200,000   | 200,158 | -158     | 不足分 ¥158.- ふるさと基金より補填   |
| パワーアップ助成金       | 0         | 100,018 | -100,018 | 不足分 ¥18.- ふるさと基金より補填    |
| みんなde菜園 運営事業    | 317,895   | 346,080 | -28,185  | 不足分 ¥785.- ふるさと基金より補填   |
| 雑支出             | 0         | 0       | 0        |                         |
| 合計              | 1,315,595 | 927,351 | 388,244  |                         |



# 自主財源

## 2023年度 ふるさと基金 収支決算書

期間:2023年4月1日(土)~2024年3月31日(日)

(単位:円)

|           |   |                   |   |                          |   |           |
|-----------|---|-------------------|---|--------------------------|---|-----------|
| 前年度繰越金    | + | 2023年度収入          | - | 2023年度支出                 | = | 来年度繰越金    |
| 1,033,167 |   | 486,778           |   | 340,100                  |   | 1,179,845 |
|           |   | コピー・ラミネート代 64,790 |   | コピー・ラミネート・複写機等稼働費 88,550 |   |           |
|           |   | うおずみ祭り 売上 292,400 |   | パソコン 50,000              |   |           |
|           |   | くすのん募金 37,979     |   | チラシ 6,996                |   |           |
|           |   | 謝礼 75,000         |   | みんなdeごはん 54,878          |   |           |
|           |   | 缶バッジ売上 13,100     |   | 能登半島地産産物基金 48,150        |   |           |
|           |   | その他 3,509         |   | 喫茶くすのき 50,000            |   |           |
|           |   |                   |   | 缶バッジ 28,722              |   |           |
|           |   |                   |   | その他 12,804               |   |           |

### 運用事業

(単位:円)

|        |   |                |   |          |   |       |
|--------|---|----------------|---|----------|---|-------|
| 前年度運用費 | + | 売上・ふるさと基金より    | - | 人件費・材料費他 | = | 運用残金  |
| 17,432 |   | 280,700        |   | 291,571  |   | 6,561 |
|        |   | (内 売上 230,700) |   |          |   |       |

## 2023年度 自治会分担金 収支決算書

期間:2023年4月1日(土)~2024年3月31日(日)

### 【収入の部】

(予算-決算)

(単位:円)

| 項目     | 予算額     | 決算額     | 増減    | 摘要                           |
|--------|---------|---------|-------|------------------------------|
| 自治会分担金 | 426,510 | 424,510 | 2,000 | 今年度分担金 81,000 前年度繰越金 343,510 |
| 合計     | 426,510 | 424,510 | 2,000 |                              |

### 【支出の部】


(予算-決算)

(単位:円)

| 項目     | 予算額     | 決算額    | 増減      | 摘要             |
|--------|---------|--------|---------|----------------|
| 自治会分担金 | 426,510 | 40,927 | 385,583 | 今年度繰越金 383,583 |
| 合計     | 426,510 | 40,927 | 385,583 |                |

2024年 4月 28日


会計


松井 孝 

## 2023年度 会計監査報告

2023年度の会計について証拠書類および関係帳簿の監査を行いました結果、会計の収支は適正であり、公正であったことを認めます。

2024 年 5 月 8 日

監査 旭泉 哲亨 

監査 山田 美希 

## 2024年度「魚住まちづくり協議会」役員

会長 橋本 等 注) 氏名・役務は変更箇所

副会長 木下 嘉教

幹事長 西海 秀樹

副幹事長 長尾 芳浩

部会長

健康・福祉 横山 季明

安全 赤木 紘

子ども 休部

自然・環境・歴史 川島 幸夫 (まとめ役)

事務局長 川島 幸夫

事務局次長 松澤 公恵

会 計 松井 幸

会計監査 旭泉 哲守

山田 美希

顧 問

魚住まちづくり協議会・前会長 武久 栄一

明石市立魚住東中学校長 増田 恵津子

明石市立魚住小学校長 藤井 生也

明石市立魚住幼稚園長 深津 久美子

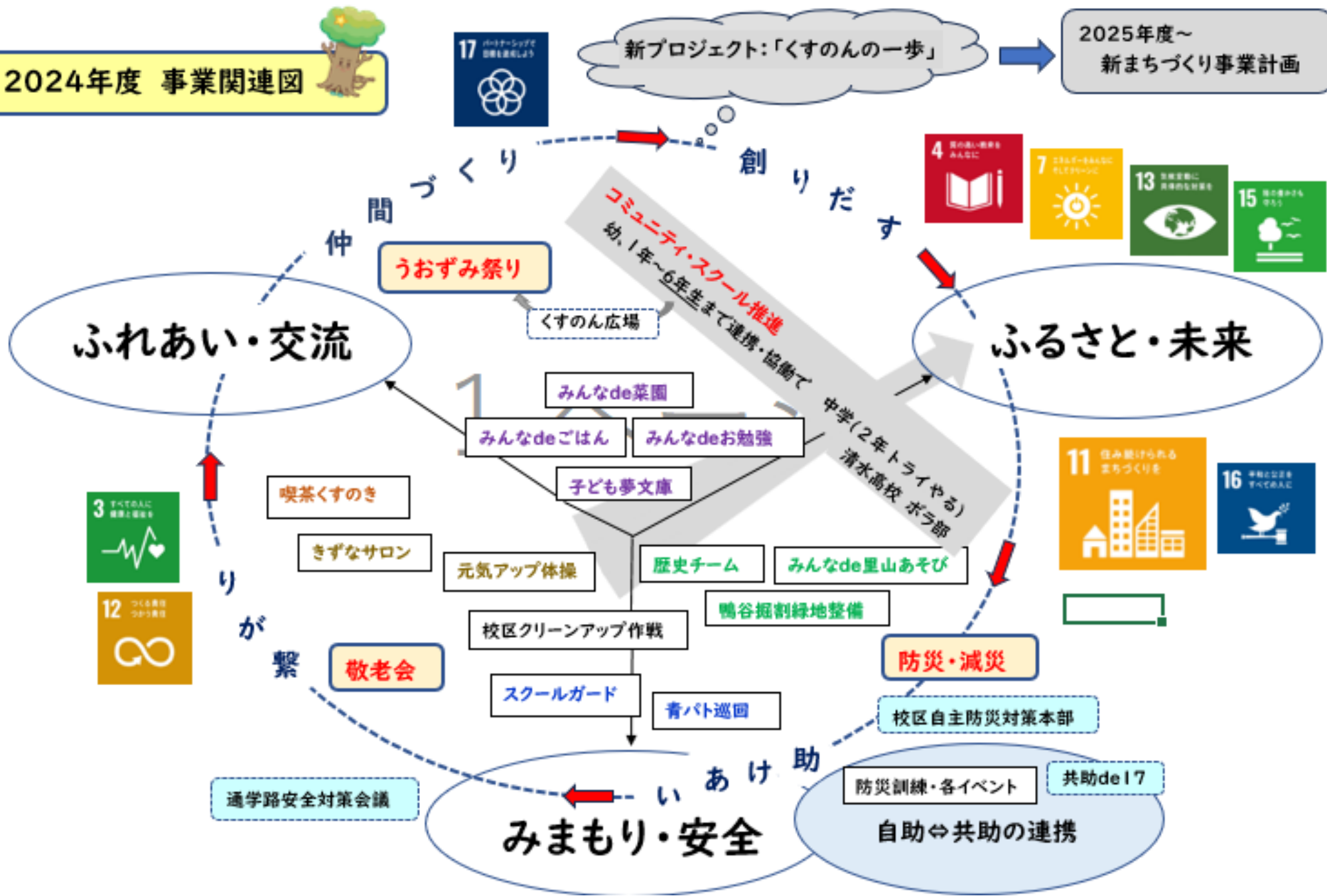
ビジョン：人と人が交流し、人と自然が共生する いつまでも安心して住み続けたいまち

2024年度 事業関連図



新プロジェクト：「くすのんの一歩」

2025年度～  
新まちづくり事業計画



# 2024年度 魚住まちづくり協議会 事業計画

## ■ビジョン/スローガン■

(2015~2024年 10ヶ年まちづくり計画書から)

ビジョン：人と人が交流し、人と自然が共生するいつまでも安心して住み続けたいまち

スローガン：やりたいことを、仲間と一緒に、楽しく、長く活動を続けていこう！！

## ■2024年度 まちづくり10年目、新たなスタートへの準備■

### 重点ポイント)

「くすのんの一歩」(多様なメンバーで新たなまちづくり計画書を作成)

→まちづくり協議会10年を迎え、今までの活動をふり返し、地区がこれからしっかり活動し、進み、次に繋げていけるまちを目指していく

地区防災コミュニティづくり(校区自主防災対策本部)

→災害に備え、住民・自治会・まちづくり協議会が協力し行政とも連携しながら顔の見える地域をめざし、訓練や研修を重ねて自助、共助の経験を積み自主防災力を高める

コミュニティスクールを通じて更に地域と学校がつながりを深める

→地域の子どもは地域みんなで育む(スクールガードや高年クラブ、自治会等)

地域内他団体と交流(お互いに情報共有しながらまちづくりに協力)

## ■全体事業計画■

### 3大行事)

- ✦ 9/14(土) 敬老会
  - ✦ 10/19(土) 予備20(日) うおずみ祭り
  - ✦ 2025/1/11(土) 予備日12(日) 左義長
- \*但し、詳細な企画、運営方法については別途協議する

「くすのんの一歩」 新規メンバーも加わり、自由な意見交換をしながら次年度、11年目からの事業計画書を作り上げる

「コミュニティスクール」 ~学校と地域が協働で地域の子どもを育む~  
幼稚園年長、1年から6年生までつながりのあるストーリーで色々な授業に取り組む。高学年は地域に貢献するやりがい、達成感のある活動を目指す。

・・・→別紙資料2参照

### 広報)

- ・事務局員を中心に改善しながら運営する 広報ツール：紙媒体+WEB
- ・ホームページ 随時
- ・広報「うおずみ だいすき！」 季刊(年4回)

## 校区防災事業)

校区防災コミュニティの中心となる校区自主防災対策本部の体制づくり

・・・地域メンバー確保、基本組織づくりを行う

特に重要な自助・共助を各家庭、自治会、まちづくり協議会本部がそれぞれの役割を理解し連携し、校区防災力アップを目指す

- ・自治会防災担当者向けの勉強会や訓練への参加を募る
- ・全体行事（うおずみ祭り、左義長）で防災・減災啓発活動を実施
- ・7月、9月、2月のテーマごと訓練を実施する 共助 de17 がサポート  
→次年度から7月校区全体防災訓練実施に向けての準備
- ・要支援者対策も含め各自治会の防災力アップに向けサポート  
→自治会連絡会で提案し、個々の自治会の実状に合わせた防災対策を推進する
- ・避難所運営用備品の充実(トイレ・水・炊き出し・寝具)

## 健康・福祉部会 ～いつまでも元気で明るく生きるための健康増進を目的とする～

- ・きずなサロンを開催し、みんなが自由に集える居場所づくり  
月1回第2水曜日に開催
- ・元気アップ体操で健康づくりやフレイル予防に 毎月、第2、4木曜日実施
- ・市の出前健診の実施 11月に実施予定
- ・地域内他団体等や他部会との交流・連携  
まちなかゾーン会議への参加(随時)  
校区内高年クラブとの連携や3部会共催活動(クリーンアップ作戦)
- ・新しいメンバーを増やし、遂行体制の強化を図る。

## 安全部会 ～地域のみんなで安全安心、そして信頼が肌で感じられるまちづくり～

- ・あいさつ運動の実施  
児童・生徒・地域の人々といつでも
- ・みんなで見守る活動  
スクールガード活動 ～登下校・学校園の見守り、校外学習の見守り～  
ながら見守りの実施～交通安全・防犯を地域全体で～  
広報・啓発(HPや青パトからテープでの放送を検討)も実施
- ・みんなで協働 コミュニティスクール活動に協力
- ・3部会(自然環境歴史・健康福祉・安全)、自治会協働のクリーンナップ作戦
- ・青パト乗車での防犯校区巡回 月1回

## 自然・環境・歴史部会 ～ふるさとの自然と文化を体感しながら 守り続け誇りに思えるまちづくり～

今年度から歴史と自然環境に分かれ、3チームを作り連携しながらも  
それぞれ自主的に活動を進める

## みんな de 里山あそびチーム

主に金ヶ崎公園での里山整備や自然体感活動を行う

里山保全（夏場を除く）、自然観察・親子自然体験を年3回ほど企画、運営  
鴨池掘割緑地整備チーム 緑化公園課に公園愛護会として登録

浜西自治会・高年クラブ、部会員、地域住民で構成し月2回定期的に清掃活動を実施

## 歴史チーム

- ・魚住小学校区の歴史・文化を掘り起こし、地域住民と共有 地域の史跡のアピール

◎看板新設 ◎設置済看板(7カ所)の管理〈草刈・清掃〉

近隣地域の史跡探訪 看板を巡るウォーキングイベントを開催

- ・「うおずみ学講座」を引き継ぎ、まち協主催で開催(12年目) 11月に2回

## 共通事業

- ・部会研修会実施
- ・地域ゴミの削減に取り組む

魚住小校区クリーンアップ作戦の継続実施 ゴミ減量推進委員との連携も

## くすのん広場チーム

前半はコミュニティスクール6年生への対応が中心 うおずみ祭りの運営に参加

後半については本来の形に戻り、地域住民対象に開催の予定

多様な人が参加しやすい環境を選び、今のコンセプトで継続的に開設する

批判、非難しない気軽に自由に参加できる居場所づくりを目指す

## ふるさと・未来(子どもを育む)

みんな de 菜園 土づくり、苗植え、種まき、草引き、収穫、収穫祭など年間を通じて参加者主体の楽しく、美味しい菜園活動を実施

地味で大変な土づくりなどの作業を担う菜園PAPAのメンバー増を計る

みんな de お勉強 毎週水曜日 14時半 1年～3年 15時半 4年～6年  
60名を定員とし、春、夏、冬休みにお楽しみ会実施

高校生ボランティアの積極的参加を促す

こども夢文庫 開設2年目 更なる利用拡大を進める

活動時間は週2回に増やし毎週火曜日/午前、午後 毎週金曜日/午前実施

喫茶くすのき 毎週火曜日から金曜日 9時30分～13時30分まで営業

夏休み、冬休み、春休みも営業 場所を知ってもらうためにのぼりを作成

～地域の人にもっと居場所、交流の場として活用してもらえるように～

みんな de ごはん 月1回定期的に開催

～みんなで作って食べて片付けをして世代間交流を楽しめる場づくり～

## 通学路安全対策会議の開催

大道池工事、長坂寺県住工事

今年度終了予定 関係部署が集まり現状と今後の予定を共有する

魚住東中 トライやる・ウィーク 6月第一週 3名受け入れ

清水高校 2年生 インターンシップ 1名受け入れ

人環 ボランティア部との交流

## 一括交付金

## 2024年度 地域一括交付金 収支予算書

期間：2024年4月1日(月)～2025年3月31日(月)

## 【収入の部】

(単位:円)

| 項目      | 予算額       | 摘要                              |
|---------|-----------|---------------------------------|
| 地域一括交付金 | 8,508,292 | 今年度補助金 8,180,000 前年度繰越金 328,292 |
| 合計      | 8,508,292 |                                 |

## 【支出の部】

(単位:円)

| 項目            | 予算額       | 摘要                                      |
|---------------|-----------|---|
| ① うおずみ祭り      | 300,000   | テント賃借料、材料費、保険料など                        |
| ② 左義長         | 150,000   | イベント材料、保険料など                            |
| ③ 校区防災活動・防災訓練 | 150,000   | 防災だより、防災訓練など                            |
| ④ 安全          | 70,000    | スクールガード運用、クリーンアップ作戦など                   |
| ⑤ 健康福祉        | 70,000    | 印刷代、保険料、クリーンアップ作戦など                     |
| ⑥ 自然・環境・歴史    | 70,000    | 看板、保険料、クリーンアップ作戦など                      |
| ⑦ 新規活動費       | 50,000    | くすのん広場など                                |
| ⑧ 広報          | 300,000   | 年に4回フルカラー広報紙全世帯配布・ホームページ運営(月1万円×12ヶ月)など |
| ⑨ 事務局運営       | 348,292   | カラーコピー(賃借+印刷製本)、印刷、通信、備品など              |
| ⑩ 事務局人件費      | 7,000,000 |   |
| 合計            | 8,508,292 |   |



# 補助金・助成金

## 2024年度 補助金・助成金 収支予算書

期間: 2024年4月1日(月)~2025年3月31日(月)

### 【収入の部】

(単位:円)

| 項目                | 予算額       | 摘要  |
|-------------------|-----------|---|
| 敬老月間推進(敬老会開催)事業   | 300,000   | 明石市高齢者総合支援室より 敬老会開催時に使用                   |
| 防犯協会活動補助          | 350,176   | 今年度補助金 70,000 前年度繰越金 280,176              |
| こども応援助成金          | 200,000   | あかしこども財団より みんなdeお勉強に使用                    |
| こども夢文庫 運営助成金      | 200,000   | あかしこども財団より こども夢文庫に使用                      |
| みんなde菜園 運営事業      | 300,000   | 明石市地域共生社会室より みんなde菜園に使用                   |
| 里山あそびチーム<br>活動助成金 | 30,000    | 金ヶ崎コミュニティ協会より<br>自然・環境・歴史部会の里山あそびチーム活動に使用 |
| 雑収入               | 0         |   |
| 合計                | 1,380,176 |   |

### 【支出の部】

(単位:円)

| 項目                | 予算額       | 摘要 |
|-------------------|-----------|----|
| 敬老月間推進(敬老会開催)事業   | 300,000   |    |
| 防犯協会活動補助          | 350,176   |    |
| こども応援助成金          | 200,000   |    |
| こども夢文庫 運営助成金      | 200,000   |    |
| みんなde菜園 運営事業      | 300,000   |    |
| 里山あそびチーム<br>活動助成金 | 30,000    |    |
| 雑支出               | 0         |    |
| 合計                | 1,380,176 |    |

# 自主財源

## 2024年度 ふるさと基金

期間: 2024年4月1日(月)~2025年3月31日(月)

(単位:円)

| 日時           | 金額        |
|--------------|-----------|
| 2024年4月1日 現在 | 1,179,845 |

### 【運営事業】

(単位:円)

| 運用自主事業 | 金額    | 摘要            |
|--------|-------|---------------|
| 喫茶くすのき | 6,561 | 2023年度の残金から運用 |

## 2024年度 自治会分担金 収支予算書

期間: 2024年4月1日(月)~2025年3月31日(月)

### 【収入の部】

(単位:円)

| 項目     | 予算額     | 摘要     |        |        |         |
|--------|---------|--------|--------|--------|---------|
| 自治会分担金 | 464,583 | 今年度分担金 | 81,000 | 前年度繰越金 | 383,583 |
| 合計     | 464,583 |        |        |        |         |

### 【支出の部】

(単位:円)

| 項目     | 予算額     | 摘要 |  |  |  |
|--------|---------|----|--|--|--|
| 自治会分担金 | 464,583 |    |  |  |  |
| 合計     | 464,583 |    |  |  |  |

# 資 料

1. 規約
2. コミュニティスクール活動方針
3. 組織
4. 構成各種団体および代表者
5. 2024 年度校区自治会長一覧
6. 関連団体名簿

## 魚住まちづくり協議会規約

(名称及び事務所)

第 1 条 この会は、「魚住まちづくり協議会」(以下、「本会」という。)と称し、事務所を魚住小学校区コミュニティ・センター(以下、「魚住小コミセン」という。)内に置く。

(目 的)

第 2 条 本会は、魚住小学校区内(以下「校区」という。)において、住民、各種団体、行政がお互いを尊重し合い、連携協働しながら、「人と人が交流し、人と自然が共生する、いつまでも安心して住み続けたいまち」の形成に寄与することを目的とする。

(構 成)

第 3 条 本会は、次に掲げる者によって構成する。

- 1 校区に居住する住民
- 2 校区で活動する自治会、各種団体
- 3 校区に所在する事業所
- 4 その他、役員が必要と認める者

(事 業)

第 4 条 本会は、第 2 条の目的を達成するため、校区内の次の事業を行う。

- 1 住民の健康・福祉に関すること。
- 2 住民相互の親睦・交流に関すること。
- 3 住民の安全・安心に関すること。
- 4 子どもの健全な育成に関すること。
- 5 自然環境の保持と改善向上に関すること。
- 6 歴史・文化の継承に関すること。
- 7 情報伝達に関すること。
- 8 その他本会の目的達成に関すること。

(まちづくり応援隊)

第 5 条 本会にまちづくり応援隊を置く。

- 2 まちづくり応援隊の任期は 1 年とする。ただし、継続は妨げない。
- 3 まちづくり応援隊は、第 3 条に定める各種団体及び事業所等の代表者及び地域活動者とする。
- 4 地域活動者は、本会の構成員で、かつ目的に賛同する者であれば、誰でもなることができる。

(役 員)

第 6 条 本会は、次の役員を置く。

- |     |   |     |           |
|-----|---|-----|-----------|
| (1) | 会 | 長   | 1 名       |
| (2) | 副 | 会 長 | 若干名       |
| (3) | 部 | 会 長 | 各部会から 1 名 |

- |     |       |    |             |
|-----|-------|----|-------------|
| (4) | 幹事長   | 1名 | 自治会連絡会の代表者  |
| (5) | 副幹事長  | 1名 | 自治会連絡会の副代表者 |
| (6) | 会計    | 1名 |             |
| (7) | 事務局長  | 1名 |             |
| (8) | 事務局次長 | 1名 |             |
| (9) | 監査    | 2名 | 会計及び事業を監査する |

2 前項に定める役員は、兼務することができない。

3 本会に顧問を置くことができる。顧問は会長が役員会の承認を得て委嘱する。

#### (役員を選出及び職務)

第 7 条 役員を選出および職務は次のとおりとする。

- (1) 役員は、まちづくり応援隊の中から部会または自治会連絡会で推薦又は互選し、役員会で諮り総会において承認を得ることとする。
- (2) 会長は、本会を代表し、会の招集その他会務の総括をする。
- (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、これを代行する。
- (4) 部会長は、部会を代表し、部会活動全般を総括する。
- (5) 幹事長は、本会の運営を補佐する。
- (6) 副幹事長は、幹事長と共に本会の運営を補佐する。
- (7) 会計は、会計事務を適切に行う。
- (8) 事務局長は、本会の調整役として、事務事業を調整及び執行する。
- (9) 監査は、会計監査及び事業監査を行い、監査結果を総会で報告するものとする。

#### (任期)

第 8 条 役員任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

#### (会議)

第 9 条 本会の会議は、総会、役員会、自治会連絡会、各部会で構成する。

- 2 本会の会議は、公開を原則とし、事業計画、事業報告、予算及び決算等についても広く地域住民に周知するものとする。
- 3 総会については、開催日を広報紙や回覧等により、事前に地域住民に周知するものとする。

#### (総会)

第 10 条 総会は、まちづくり応援隊によって構成し、会長が招集する。

- 2 総会は、構成員の過半数（委任状を含む。）の出席をもって成立する。
- 3 議決は、出席者の3分の2以上をもって決定する。
- 4 議長は、出席者の中から会長が指名する。
- 5 総会は、本会の最高議決機関であって、毎年1回、定期総会を開催するほか、会長が必要と認めた場合、又はまちづくり応援隊の3分の1以上の請求があった場合には、臨時総会を開催しなければならない。
- 6 総会は、次の事項を審議、承認又は議決を行う。
  - (1) 地域まちづくり計画の策定及び変更に関すること。
  - (2) 規約の改廃に関すること。

- (3) 事業計画・予算、事業報告・決算に関すること。
- (4) 役員の選出に関すること。
- (5) その他、本会の運営に関する重要事項

(役員会)

第 11 条 役員会は、総会に次ぐ議決機関であつて、会長、副会長、部会長、幹事長、副幹事長、会計、事務局長、事務局次長によって構成し、会長が招集する。

ただし、構成員の過半数の請求があつた場合、会長は速やかに会議を招集しなければならない。また会が必要と認めた場合、他メンバーも参加出来る。

- 2 役員会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。
- 3 役員会の議長は、会長が行う。
- 4 役員会の議決は、出席者の3分の2以上をもって決定する。
- 5 役員会は、次の事項を議決する。
  - (1) 総会に付議すべき事項
  - (2) 部会間の情報交換及び自治会連絡会との調整、連携に関すること。
  - (3) 顧問の設置に関すること。
  - (4) その他、本会の運営に関する事項

(自治会連絡会)

第 12 条 自治会連絡会は、校区自治会で構成した、校区の連絡調整、協議を行う機関であり、各自治会の会長を幹事とする。

- 2 自治会連絡会は、幹事(各自治会長)、まち協会長、まち協副会長、事務局長によって構成する。
- 3 自治会連絡会には、幹事長及び副幹事長を置く。
- 4 自治会連絡会は幹事長が招集する。ただし、構成員の過半数の請求があつた場合、幹事長は速やかに会議を招集しなければならない。
- 5 幹事長は、幹事の中から選出する。
- 6 幹事長は、自治会連絡会を代表し連絡会全般を総括する。副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、これを代行する。
- 7 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立する。
- 8 やむを得ない理由のため会議に出席できない幹事は、原則として代理を立てるものとする。
- 9 会議の議長は、幹事長が行う。
- 10 会議の議決は、出席者の過半数をもって決定する。

(校区自主防災対策本部)

第 13 条 第4条に定める(3)安全・安心の特に自主防災に関する事業を行うため、本会に次の防災対策本部を置く。

- (1) 地域住民全ての命を守るため、自治会やまちづくり応援隊と関係各種団体が連携しながら自主的な防災に関する活動を行う。
- (2) 防災対策本部メンバーは、まちづくり応援隊と関係各種団体から構成される。
- (3) メンバーは希望する班に加入することが出来る

- (4) 防災対策本部にはリーダー1名、サブリーダー若干名を置くことができる。  
なお事務、会計、監査については、まち協担当者が行う。
- (5) リーダー、サブリーダーは防災対策本部メンバーの中から選出する。
- (6) リーダーは、本組織を代表し活動全般を総括する。サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるときは、これを代行する。
- (7) 班長は各班から自薦他薦で選出し、班運営を構成メンバーと連携協力して推進する。
- (8) 防災対策本部会議の構成は、リーダー、サブリーダー、班長、まち協役員、事務局によって構成する。
- (9) 会議は、構成員の3分の2以上の出席を持って成立する。
- (10) 会議は、必要に応じてリーダーが招集する。ただし、構成員の過半数の請求があった場合は、リーダーは速やかに会議を招集しなければならない。
- (11) 会議の議長は、リーダーが行う。
- (12) 会議の議決は、出席者の3分の2を持って決定する。
- (13) 組織図は別途定める。

#### (部 会)

第 14 条 第4条に定める事業を行うため、本会に次の部会を置く。

- (1) 健康・福祉部会（住民の健康・福祉に関する活動を行う。）
- (2) 安全部会（住民の安全安心に関する活動等を行う。）
- (3) 子ども部会（子どもの健全な育成に関する活動等を行う。）
- (4) 自然・環境・歴史部会（自然環境の保持と改善向上や歴史・文化の継承に関する活動等を行う。）

2 部会は、まちづくり応援隊で構成する。

3 まちづくり応援隊は、希望する複数の部会に加入することができる。

4 各部会には、部会長及び副部会長を置く。

5 部会長及び副部会長は、部会員の中から選出する。

6 部会長は、部会を代表し部会活動全般を総括する。副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、これを代行する。

7 部会は、必要に応じて部会長が招集する。ただし、部会員の過半数の請求があった場合は、部会長は速やかに会議を招集しなければならない。

8 会議の議長は、部会長が行う。

9 役員会が必要と認めた場合、総会の承認を得て部会を新設及び統廃合することができる。

#### (新たな活動チームの設置)

第 15 条 まちづく応援隊メンバーは役員会の承認を得て、部会を補完または横断するチームを作ることが出来る。また補助金などが必要な場合、役員会の承認を経て支給することが出来る。

(広報)

第 16 条 本会の活動内容及び情報を地域住民に広く周知するため、広報活動を行う。

2 事務局は、各部会から1名ずつ選出された広報担当及び事務局が推薦する者と連携して広報活動を行う。

(会計)

第 17 条 本会の運営費は、補助金等を充てる。ただし、必要と認めるときは、分担金、その他収入金をもってこれに充てることができる。

(会計年度)

第 18 条 会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

(事務局)

第 19 条 本会の運営や活動に必要な事務及び経理等を円滑に行うため、本会に事務局を置くことができる。

2 事務局に、2名以上の職員を置くことができる。

3 事務局長は役員会で推薦し、総会の承認を得る。事務局職員は役員会の承認を得て会長が任命する。

(規約の変更)

第 20 条 本会の規約は、総会において出席者の3分の2以上の決議を得なければ変更できない。

(補則)

第 21 条 その他、運営に関する必要な事項は、役員会において別に定めることができる。

## 附 則

(施行期日)

この会の規約は、平成18年 7月25日より施行する。  
平成20年 5月30日より施行する。  
平成26年 5月17日より施行する。  
平成27年 5月16日より施行する。  
平成28年 5月29日より施行する。  
平成29年 9月10日より施行する。  
2019年 5月26日より施行する。  
2020年 5月31日より施行する。  
2022年 5月29日より施行する。



## 2024年度 魚住小コミュニティスクール活動方針

魚住小学校 教育目標:「未来を生き抜く力の育成」

- ・予測不能な時代を生き抜くために必要な資質能力の育成
- ・新たな課題を自ら解決しようとする力の育成

目指す児童像

- ・自分も人も大事につながる子
- ・自分の学びを調整しながらやり通す子
- ・自分の成長を楽しむ子

魚住幼稚園教育目標:「たくましく生きる子ども」

目指す児童像 「元気な子ども・やさしい子ども・がんばる子ども」

魚住まちづくり協議会 ビジョン:

人と人が交流し、人と自然が共生するいつまでも安心して住み続けたいまち

総合的な学習(活用・探求)の共通テーマ: ～地域の子どもは地域の宝～

長い歴史・文化の残る地域の今、昔を知り、

地域に愛着を持ち、地域に貢献しようとする人づくり

重要なポイント:学校と地域が出来る限り情報を公開、共有することで、お互いの立場を理解し、

対等の関係で役割を分担しながら連携・協働のもと地域の子どもを育む

主たる活動母体:魚住幼稚園、魚住小コミュニティスクール(学校運営協議会)

魚住小学校、魚住まちづくり協議会(協力団体含む)、PTA・保護者

学年ごとロードマップ (カリキュラム・マネジメント)

魚住幼稚園

地域の自然、人を知る

くすのん文庫

金ヶ崎公園での自然体験遊び

魚住小学校

| 学年<br>具体的テーマ                             | 課題   | 活動内容<br>(生活科・くすのき学習を軸に)                                     | 主たる連携団体   |
|--|--|---|---|
| 1年生<br>魚住の人(今・昔)                         | ・地域との出会い<br>地域の人と出会い、昔の話を聞き、遊びを一緒に楽しむ      | ・昔遊び名人になろう<br>・魚住の昔話(紙芝居)<br><br>・スタート支援・生活習慣サポート           | ・校区高年クラブ<br>・まちづくり協議会<br>(歴史チーム、くすのん文庫)<br>・魚住・魚住東地区保護司会          |
| 2年生<br>魚住の人・まち(暮らし)                      | ・もっと地域とつながり、より深く知る                         | ・まち探検<br>春、秋2回<br>・サツマイモの栽培と収穫                              | ・まちづくり協議会<br>(歴史チーム、スクールガード)                                      |
| 3年生<br>自然豊かなまち魚住                         | ・地域の宝、自然(金ヶ崎公園・校内)を再認識する                   | ・地域を深く知る<br>年間4回の学習   | ・まちづくり協議会<br>(里山チーム)<br>・PTA                                      |
| 4年生<br>自然の恵みを受け継ぐまち魚住<br>みんなの幸せ(福祉)      | ・農業(米作り)の暮らしや、ため池の歴史を知る<br><br>・多様な人とのつながり | ・絵本17号池物語<br>・県水利施設訪問<br><br>・しめ縄づくり→左義長へ<br><br>・福祉(体験や提案) | ・まちづくり協議会<br>(歴史チーム)<br>・梅田さん(浜西)<br>・浜西高年クラブ<br>・PTA<br>・社会福祉協議会 |
| 5年生<br>災害に強いまち魚住<br>～みんなの安心・安全～          | ・防災について考える<br>生命を守る(自助・共助)                 | ・出前講座と体験活動<br>→自助、共助力のアップ<br>→校区防災訓練に参加<br>→自分たちができること      | ・まちづくり協議会<br>(共助 del17)<br>・PTA<br>・自治会                           |
| 6年生<br>幸せのまち<br>魚住のために<br>(みんな de まちづくり) | ・まちの未来への提案                                 | ・みんな大好き 魚住のまち<br>→まとめを学校向け、地域向け発信→うおずみ祭りに参加                 | ・まちづくり協議会<br>・PTA   |

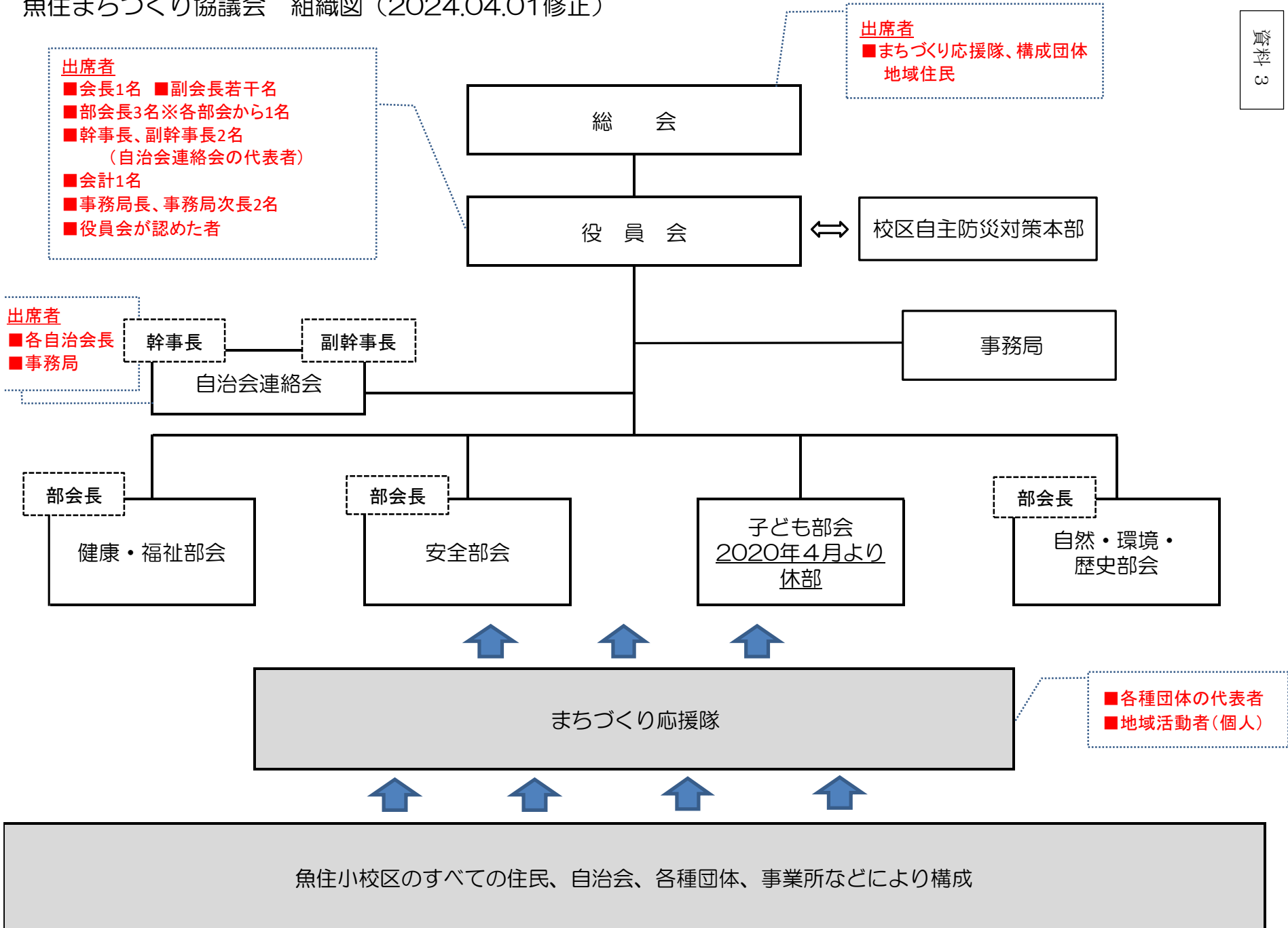
感じて

気づいて調べて

考えて

動いて

魚住まちづくり協議会 組織図 (2024.04.01修正)



2024年度

## 「魚住まちづくり協議会」

## 構成各種団体および代表者

個人会員 まちづくり応援隊 会員数 (121名)

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 団 体 | スポーツクラブ21魚住<br>校区高年クラブ<br>すたじお ぽっち<br>サポートセンター翔<br>フルーツバスケット<br>みちくさ本舗<br>うおずみ総合支援センター<br>浜西 ゆうあい<br>清水ヶ丘やってみよう会<br>明石市立魚住東中学校<br>明石市立魚住小学校<br>明石市立魚住幼稚園<br>明石市立魚住東中学校 PTA<br>明石市立魚住小学校 PTA | 中澤 恵<br>細目 博<br>室本 早知<br>加地 裕明子<br>高岸 益子<br>長尾 拓也<br>岡田 子路<br>橋本 せつ子<br>細見 昌義<br>増田 恵津子<br>藤井 生也<br>深津 久美子<br>河野 裕道<br>廣内 晋也 |
|-----|---|--|

(14団体)

|      |  |   |
|------|--|---|
| 協力団体 | 明石防犯協会 魚住小校区<br>魚住東地区社会福祉協議会<br>魚住東中学校地区青少年愛護協議会<br>魚住・魚住東地区保護司会<br>魚住東地区民生協議会<br>魚住東地区人権教育研究協議会<br>ふれあい広場・うおずみん<br>兵庫県立明石清水高等学校<br>明石市立明石商業高等学校<br>魚住東コミュニティ・センター | 木下 嘉教<br>黒坂 梅代<br>芦谷 邦也<br>川島 仁子<br>形木 原千束<br>竹内 良二<br>細目 由紀美<br>福浦 潤<br>橋本 浩二<br>倉地 信二 |
|------|--|---|

2024 年度

## 自治会長一覧

(敬称略)

| 自治会名         | 自治会長名  |
|--------------|--------|
| 金ヶ崎自治会       | 西海 秀樹  |
| 金ヶ崎北自治会      | 藤原 敏英  |
| 県住金ヶ崎自治会     | 岡本 美代子 |
| 金ヶ崎西自治会      | 木村 肇   |
| 長池自治会        | 長尾 芳浩  |
| 青葉台自治会       | 生駒 照美  |
| 守池自治会        | 佐伯 幸治  |
| 浜西自治会        | 橋本 等   |
| 清水ヶ丘自治会      | 山口 徳昭  |
| 鈴谷住宅自治会      | 高橋 由紀子 |
| 安政自治会        | 大谷 伊津子 |
| 新々田自治会       | 春木 正子  |
| 明石ヶ丘自治会      | 種子田 和子 |
| グローバル魚住Ⅱ自治会  | 高木 新二  |
| リベール明石魚住Ⅴ自治会 | 中澤 克彦  |
| 新鈴谷社宅連合自治会   | 渡邊 大志  |

計 16 自治会

## 2024年度 魚住校区関連団体名簿

下線は変更箇所

| 組織名称               | 担当者                                      | 備考  |
|--------------------|--|---|
| 明石市連合<br>まちづくり協議会  | 橋本 等<br>木下嘉教 (評議員)                       | まち協会長と1名  |
| 4校区まちづくり連絡会        | 橋本 等<br>川島 幸夫                            | 事務局：市民センター<br>偶数月 第1木曜 18:30～                           |
| 魚住小学校運営協議会         | 橋本 等<br>川島 幸夫                            | コミュニティスクールとして活動   |
| 地区社会福祉協議会<br>中学校区  | 木下嘉教                                     | 魚住東地区社会福祉協議会  |
| 地愛協<br>地区青少年愛護協議会  | 橋本 等                                     | 中学校区<br>魚住東中学校教頭が事務局                                    |
| 地人協<br>地区人権教育研究協議会 | 副会長：松澤公恵<br>理事：西海秀樹                      | 中学校区<br>小学校教頭が交代で事務局                                    |
| 魚住町防犯情報連絡会<br>4校区  | 橋本 等<br>赤木 紘                             | 事務局：市民センター<br>奇数月 第1金曜 18:00～<br>警察、学校、他も参加             |
| 東コミセン運営委員会         | 委員長：橋本 等<br>川島 幸夫、松澤 公恵                  | 錦が丘/4名、魚住/3名<br>任期：2年                                   |
| ゴミ減量推進員<br>魚小校区担当  | 木下 嘉教                                    | 環境室 資源循環課<br>各自治会：ゴミ減量推進協力員選出                           |
| 明石防犯協会<br>魚住小校区    | 支部長：木下 嘉教<br>少年補導員：佐藤 正<br>早瀬 雅巳<br>松井 幸 | 警察  |
| 地域安全まちづくり<br>推進員   | 赤木 紘<br>筒井 正壽                            | 県担当 3年任期 (2022年から3年)                                    |
| まちなかゾーン会議          | 横山 季明                                    | 医者、うおずみ総合支援センター、<br>ケアマネージャー、まちづくり協議会<br>地区社協、民生、高年クラブ他 |

これら以外

園の評議委員

幼小中高イベント、式典への出席

## ～事務局メンバー紹介～

今年度も昨年度に引き続き、まちづくり活動のサポートと  
コミセン施設管理を行うメンバーです。

事務局長 川島 幸夫

事務局次長 松澤 公恵

事務局員 藤本 智美 北村 聖子

小林 亮子 松村 嘉文

井上 壽彦

どうぞよろしく  
お願い致します



### まちづくり協議会の情報を

### ホームページや SNS で発信中！

### ぜひ、ご覧ください！

ホームページ

魚住まちづくり協議会

検索

魚住

AKASHI  
UOZUMI

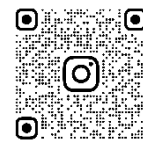
魚住まちづくり協議会公式サイト



X



Instagram



KUSUNON\_UOZUMIMACHIKYO





魚住小校庭で  
子どもたちを見守るくすのき  
推定樹齢 124 年